

4 区の情報発信のあり方

-
- (1) 区の情報入手手段
 - (2) 重要と考える区の情報
 - (3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況
 - (4) 区情報が得られない理由
 - (5) 区情報が得られない理由の詳細
-

4 区の情報発信のあり方

(1) 区の情報入手手段

■「あだち広報」が7割、「区のHP」、「町会・自治会掲示板・回覧板」、「トキメキ」が3割前後

問13 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか

(〇はあてはまるものすべて)。

図4-1-1-① 経年比較/区の情報入手手段

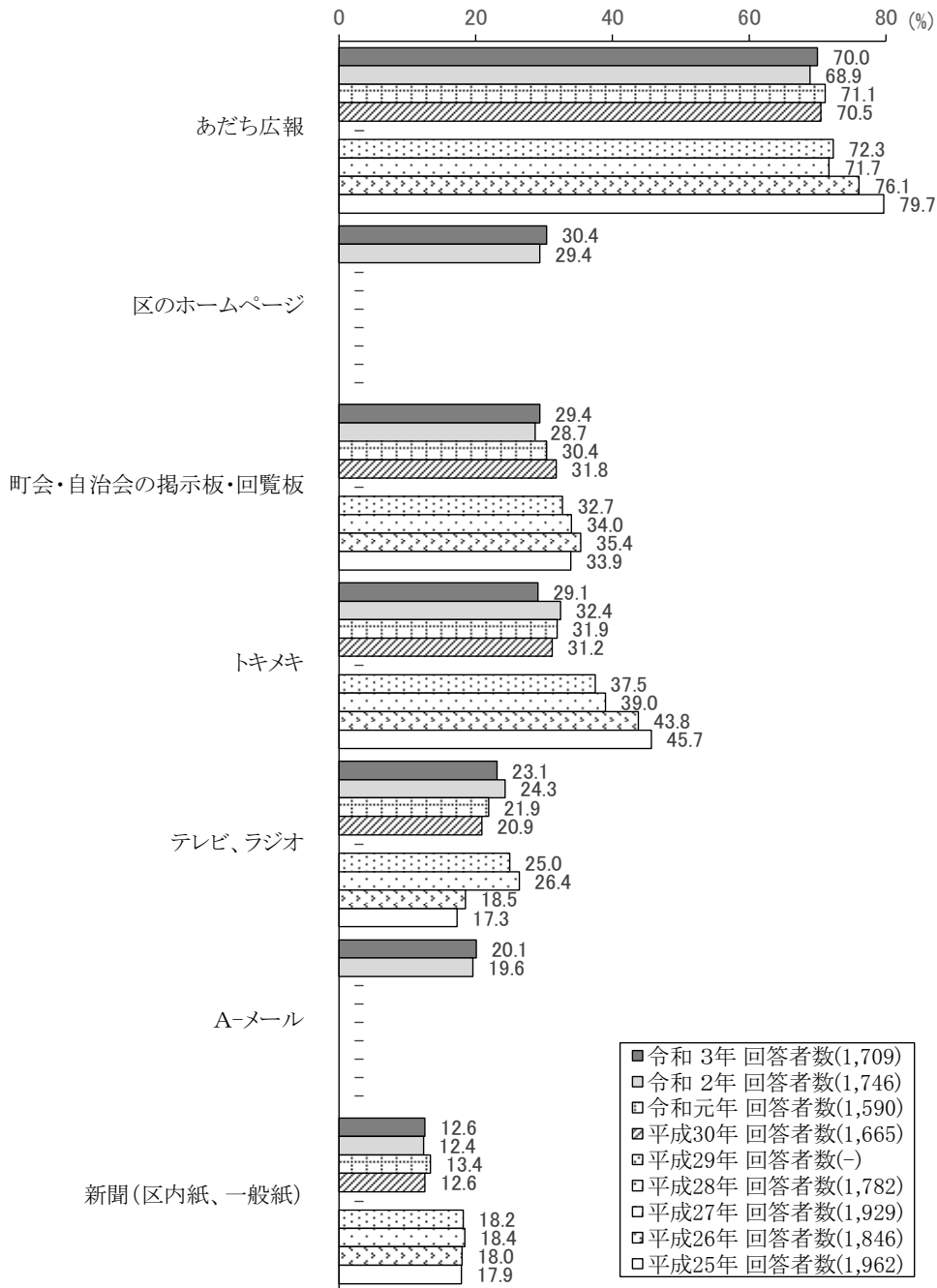


図4-1-1-② 経年比較／区の情報入手手段

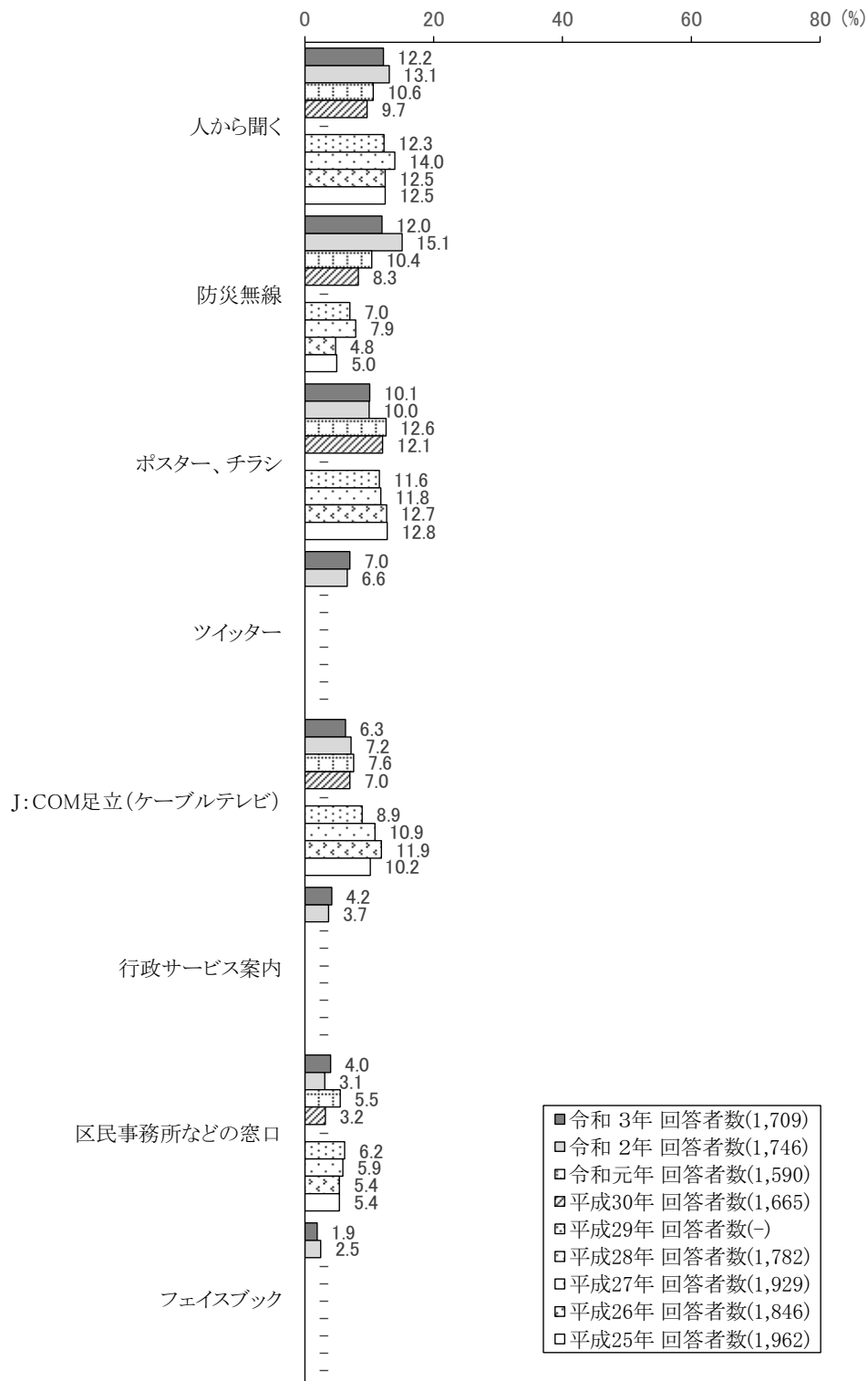
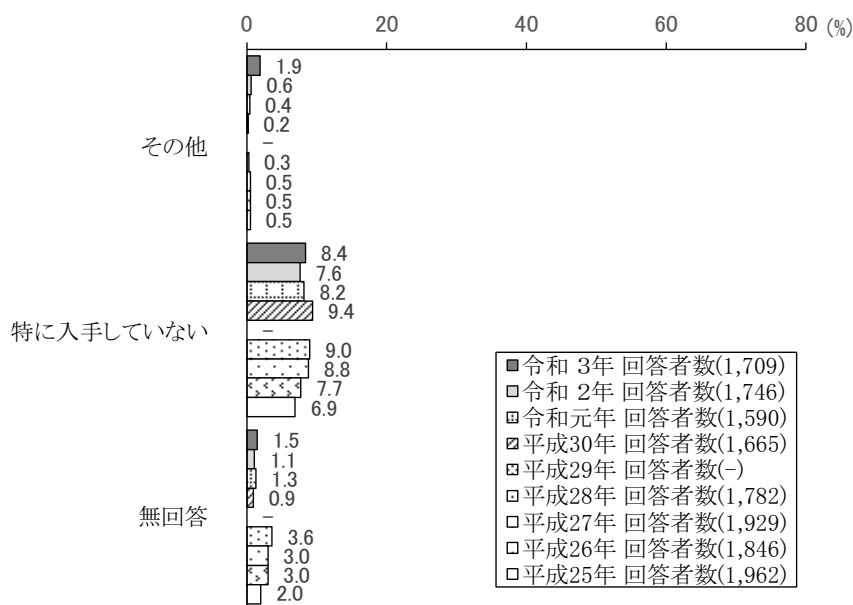


図4-1-1-③ 経年比較／区情報の入手手段



※ 本設問は、平成25年度以降聴取しているが、平成29年度では聴取していない。

※ 令和元年度まで「インターネット（区のホームページ、Aメール、ツイッター、フェイスブック）」の単独1項目で測定していたものを、令和2年度よりそれぞれの4項目に細分化して聴取している。

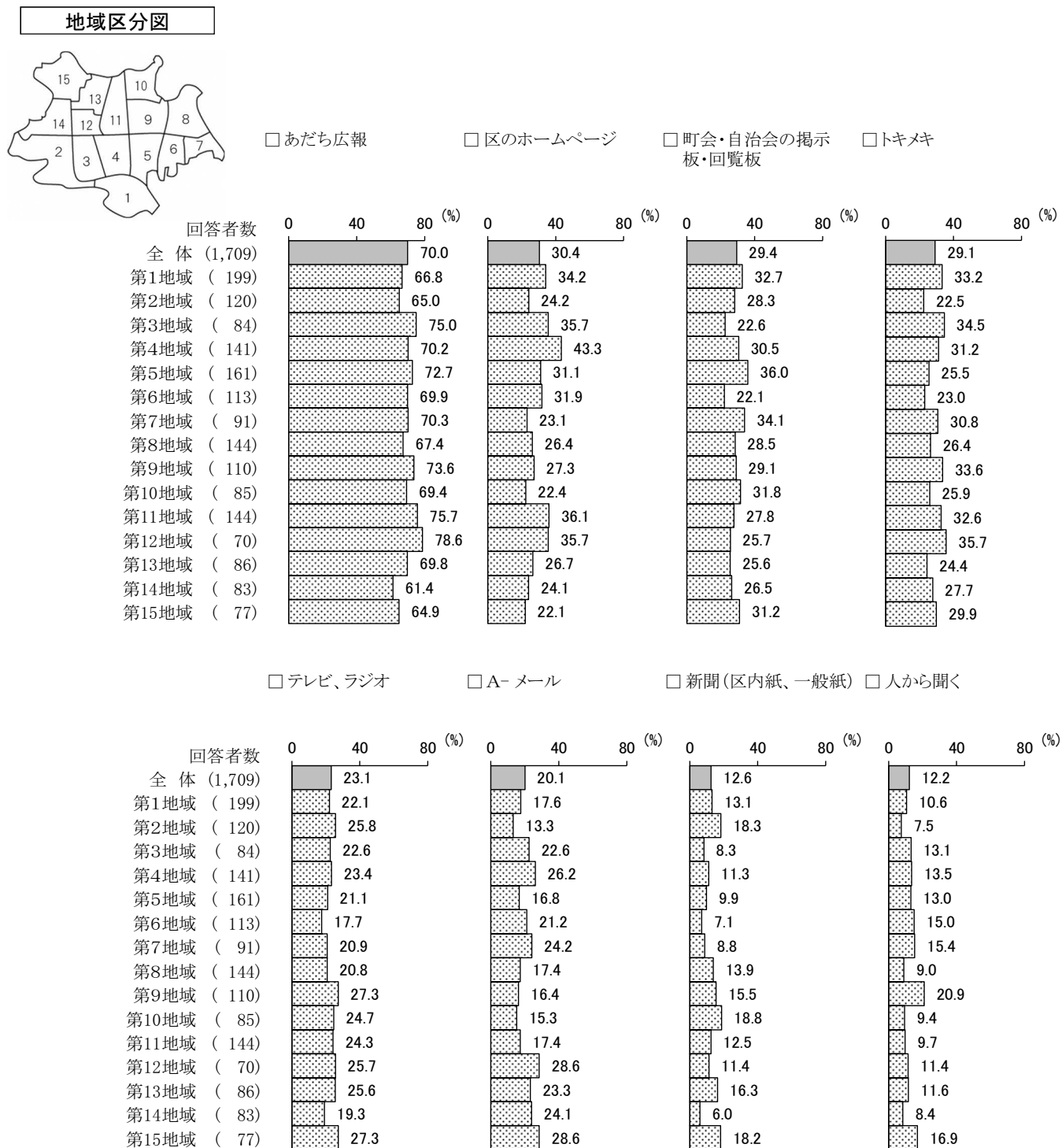
足立区に関する情報の入手媒体としては、「あだち広報」が70.0%で最も高く、以下「区のホームページ」(30.4%)、「町会・自治会の掲示板・回覧板」(29.4%)、「トキメキ」(29.1%)の3項目が3割前後で上位となっている。

経年でみると、「あだち広報」は平成27年調査以降7割前後と横ばいで推移している。2位の「区のホームページ」と3位の「町会・自治会の掲示板・回覧板」も前回の令和2年調査から変動はないが、4位の「トキメキ」は前回調査から3.3ポイント減少している。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

地域別でみると、「あだち広報」は第12地域で78.6%と最も高く、「区のホームページ」は第4地域（43.3%）、「町会・自治会の掲示板・回覧板」は第5地域（36.0%）、「トキメキ」は第12地域（35.7%）でそれぞれ最も高くなっているが、上位項目では「区のホームページ」の第4地域（43.3%）が他の地域に比べて特に高いのが目立っている。

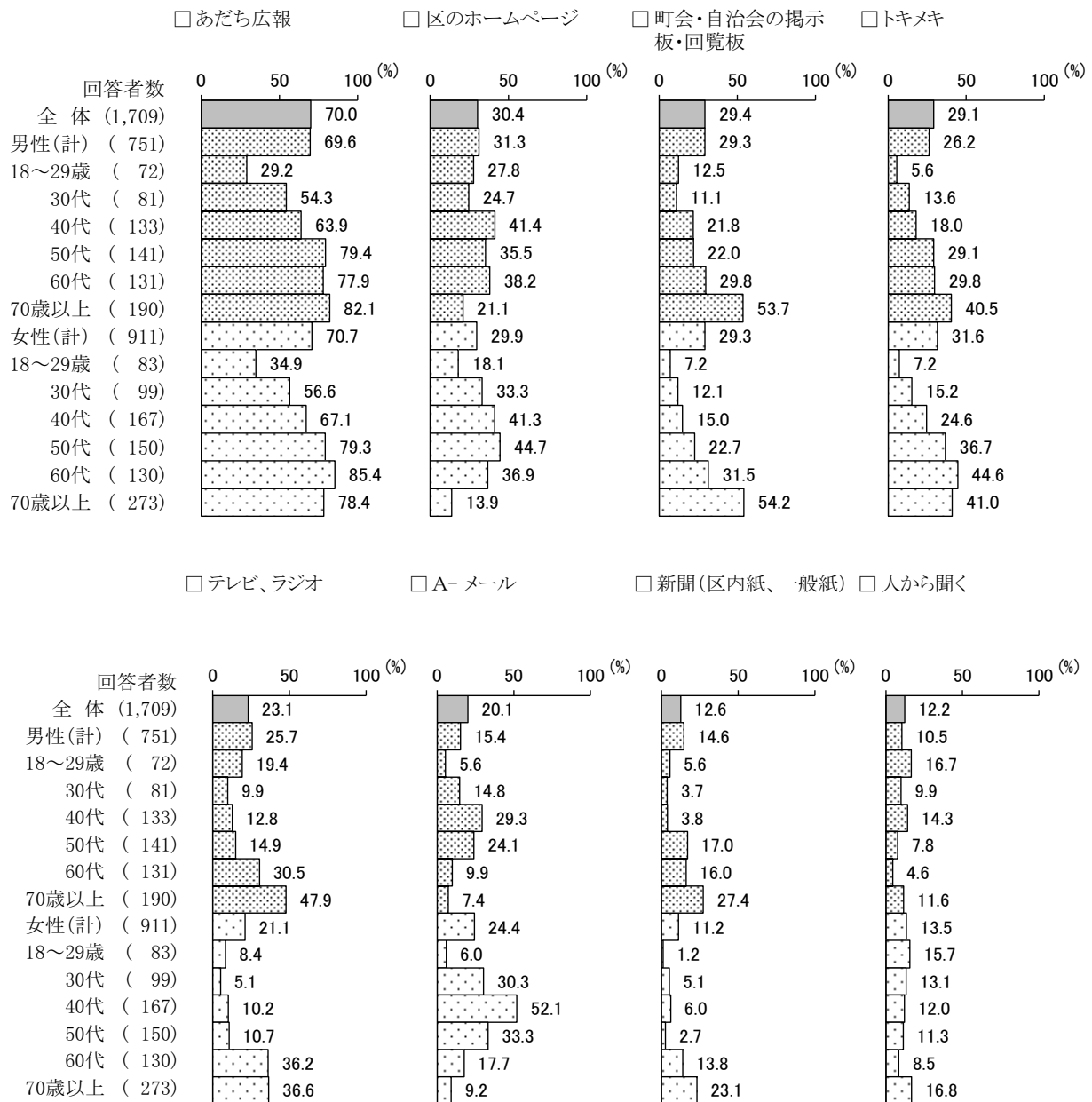
図4-1-2 地域別／区の情報入手手段／上位8項目



性別でみると、「テレビ、ラジオ」と「新聞（区内紙、一般紙）」で男性の方がそれぞれ4.6ポイント、3.4ポイント高く、逆に「A-メール」と「トキメキ」では女性の方がそれぞれ9.0ポイント、5.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「あだち広報」は男女とも50代以上で7割台後半以上と高く、18～29歳で3割台以下と低く、年代層で大きな違いがみられる。この傾向は割合こそ違うものの「町会・自治会の掲示板・回覧板」、「トキメキ」、「テレビ、ラジオ」でも同様の傾向となっている。また、「区のホームページ」は男性の40代、女性の40代と50代で4割台と高く、「A-メール」は女性の40代で52.1%と他の年代に比べて特に高くなっている。

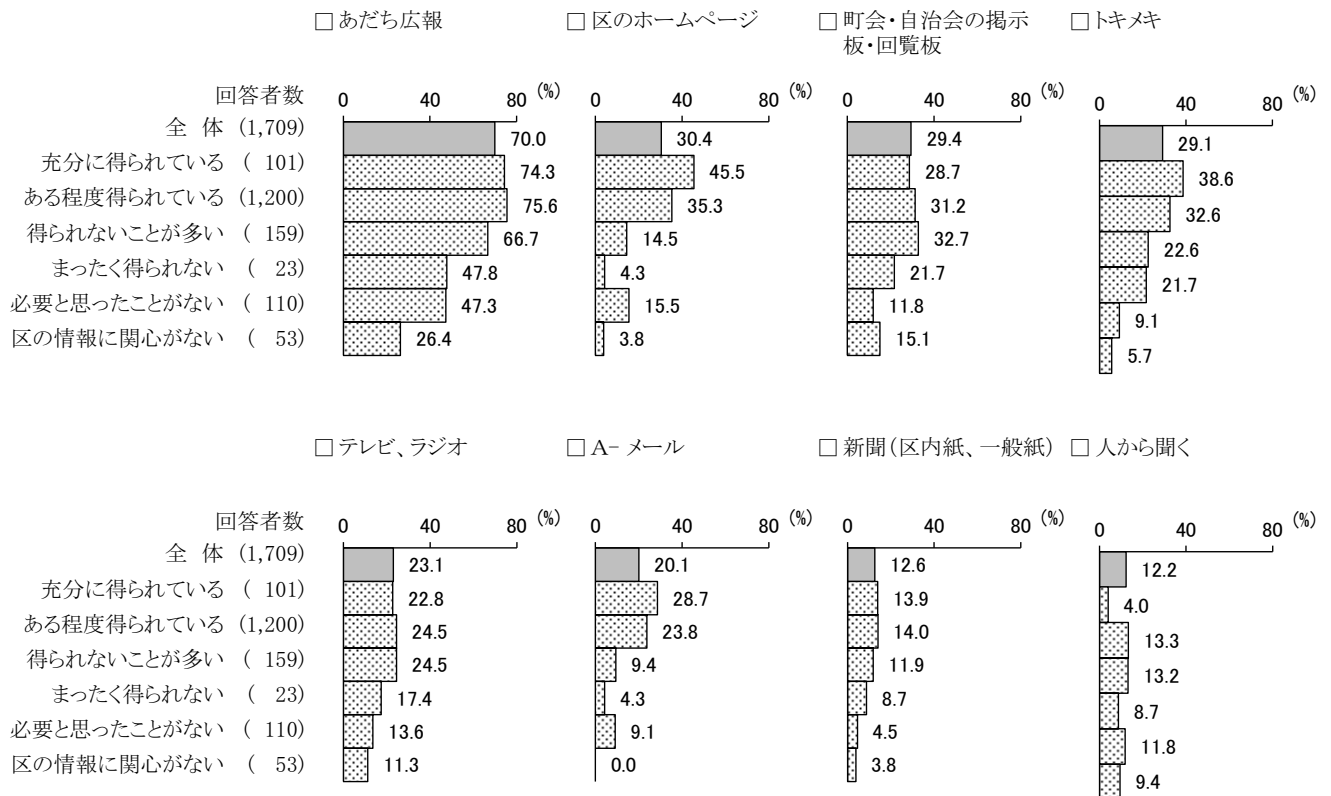
図4-1-3 性別、性・年代別／区の情報入手手段／上位8項目



第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

必要な時に必要とする区の情報入手状況別にみると、上位の「あだち広報」「区のホームページ」「町会・自治会の掲示板・回覧板」「トキメキ」などの多くの項目で、情報が得られている層の割合が高くなっている。

図4-1-4 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／区の情報入手手段／上位8項目



(2) 重要と考える区の情報

■ “健康や福祉”と“災害や気象”がともに6割台前半で上位

問14 あなたは、区が発信するどのような情報が重要だと考えていますか

(〇はあてはまるものすべて)。

図4-2-1-① 経年比較／重要と考える区の情報

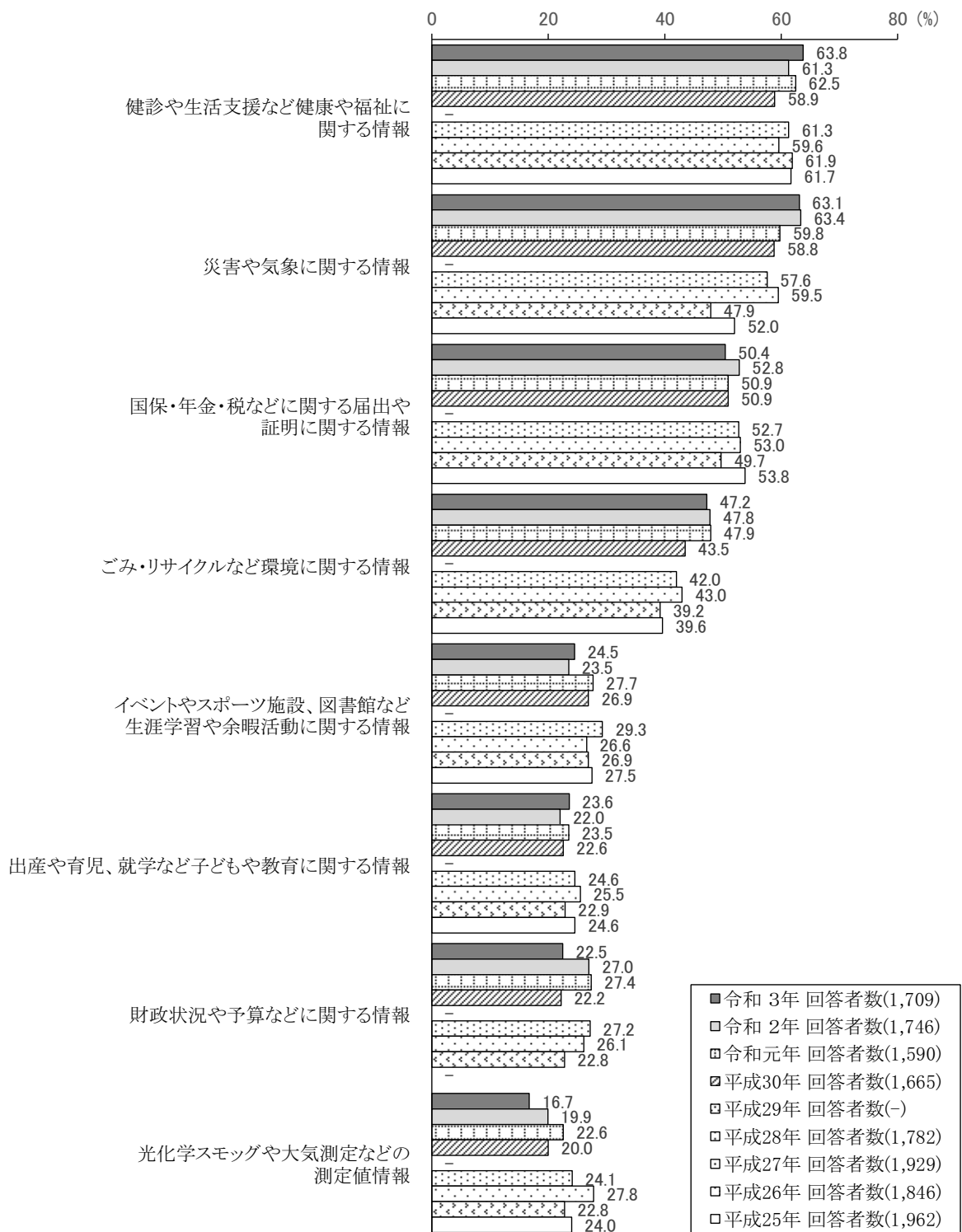
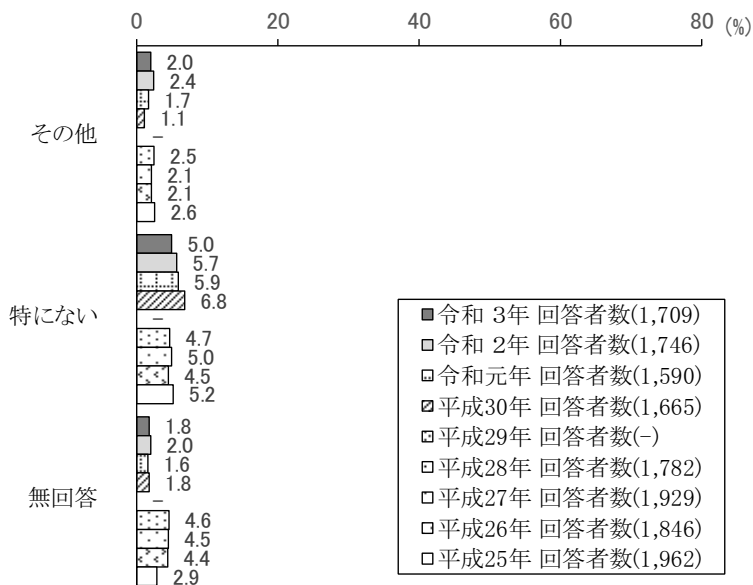


図4-2-1-② 経年比較／重要と考える区の情報



- ※ 本設問は、令和元年まで「どのような情報が必要だと思いませんか」という設問文で聴取していたが、令和2年調査から「どのような情報が重要だと考えていますか」という設問文にかえた。
- ※ 本設問は、平成25年度以降聴取しているが、平成29年度では聴取していない。
- ※ 「財政状況や予算などに関する情報」は平成26年度で新設。

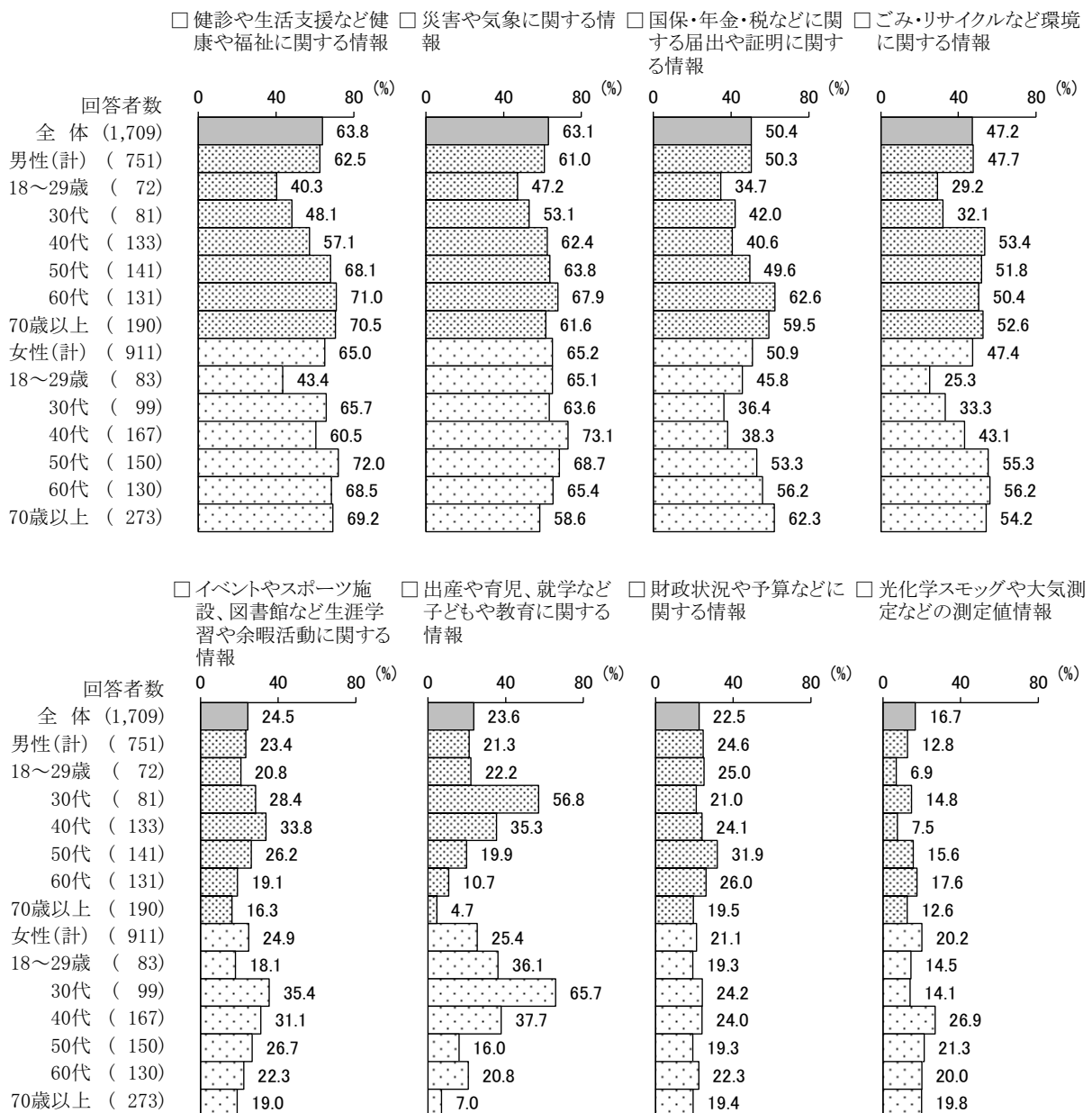
重要と考える区の情報は、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が63.8%で最も高く、僅差で「災害や気象に関する情報」(63.1%)となっている。以下「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」(50.4%)、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」(47.2%)の順で続いている。

質問文に変更があった前回の令和2年調査との比較でみると、前回の1位と2位が逆転しているものの割合に大きな違いはないが、「財政状況や予算などに関する情報」で4.5ポイント減少し前回の5位から7位に下がっている。また、「光化学スモッグや大気測定などの測定値情報」で前回から3.2ポイント減少している。

性別でみると、「財政状況や予算などに関する情報」は男性（24.6%）の方が女性（21.1%）より3.5ポイント高くなっている。逆に「光化学スモッグや大気測定などの測定値情報」は女性（20.2%）の方が男性（12.8%）より7.4ポイント高くなっており、「災害や気象に関する情報」と「出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報」でも女性の方が男性よりそれぞれ約4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、男女ともに「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」と「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」はおおむね年齢が上がるほど割合も高くなる傾向がみられる。また、「災害や気象に関する情報」は女性の40代で73.1%と最も高くなっている。「イベントやスポーツ施設、図書館など生涯学習や余暇活動に関する情報」は男女ともに30～40代で他の年代に比べ高くなっている。

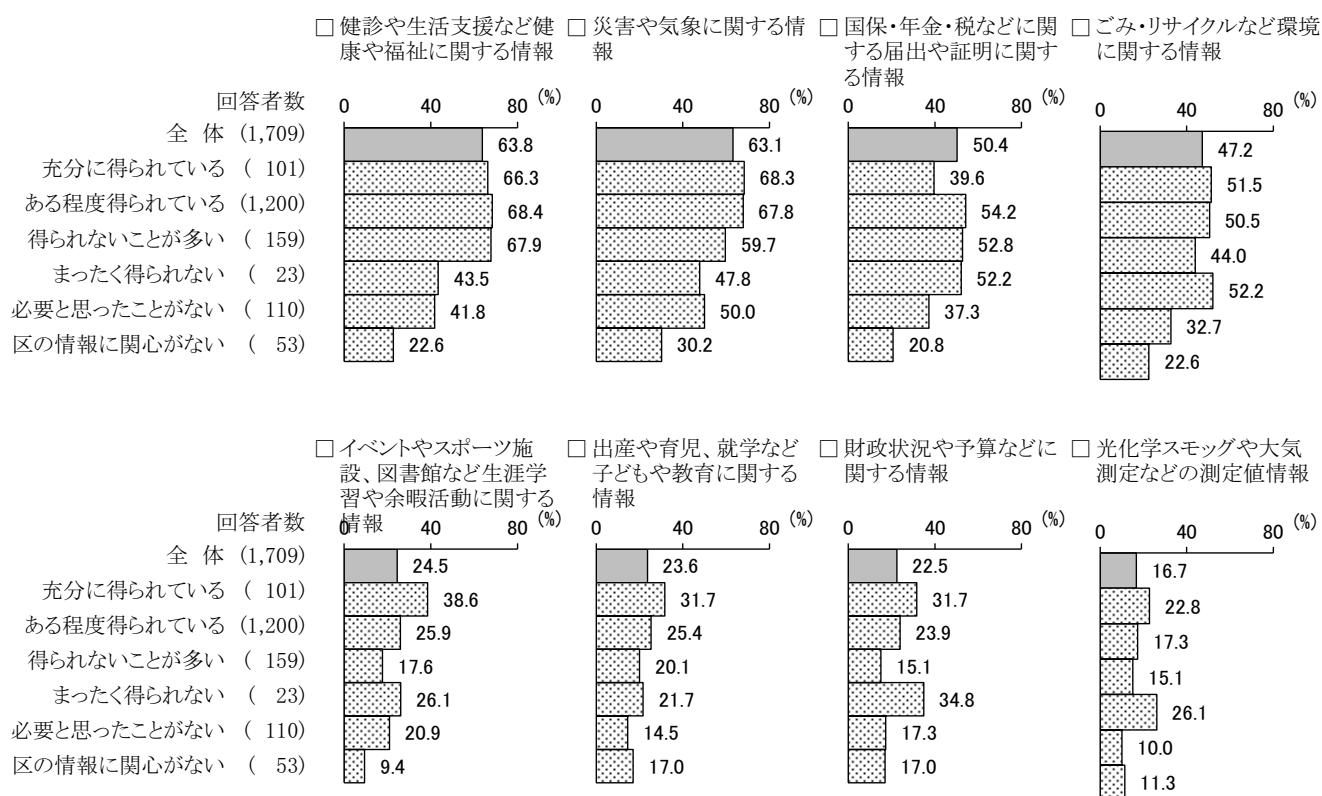
図4-2-2 性別、性・年代別／重要と考える区の情報／上位8項目



第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

必要な時に必要とする区の情報入手状況別に上位項目をみると、〈まったく得られない〉はサンプル数が少ないため参考程度となるため、〈十分に得られている〉〈ある程度得られている〉〈得られないことが多い〉の3項目でみると、「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」では〈十分に得られている〉が低くなっているが、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」、「災害や気象に関する情報」、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」では大きな違いはないことから、区の情報入手程度による情報の重要性認識に目立って大きな違いはみられない。

図4-2-3 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／重要と考える区の情報／上位8項目

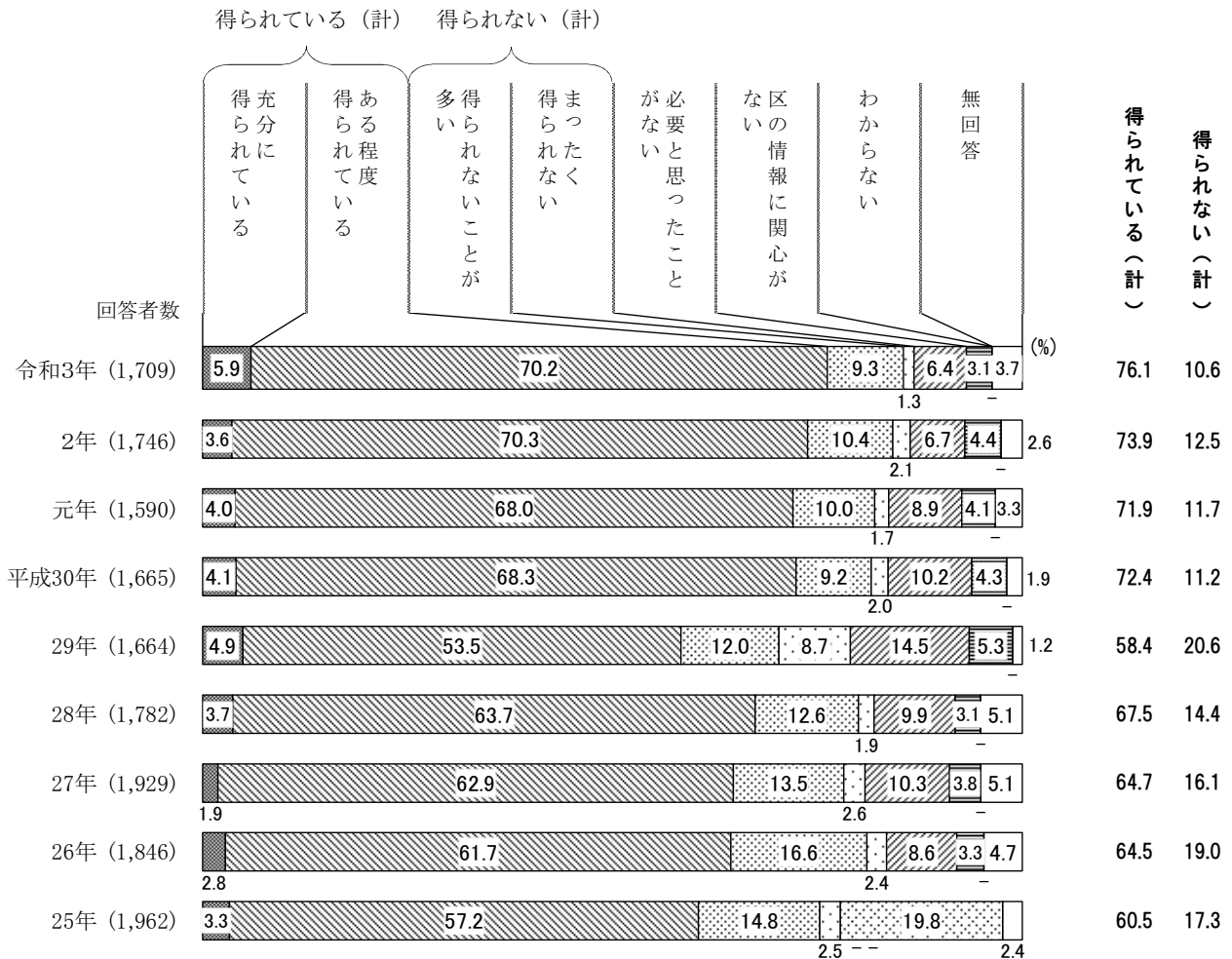


(3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況

■ 必要なときに【得られている】は7割台半ばで、平成25年以降で最高値

問15 あなたは、必要な時に必要とする区の情報を得られていますか（○は1つだけ）。

図4-3-1 経年比較／必要な時に必要とする区の情報入手状況



※ 「必要としない」「区の情報に関心がない」は、平成26年度新設。

※ 「わからない」は、平成26年度から削除。

※ 平成29年度調査では、本設問の前の問である〈区の情報入手手段〉および〈必要とする区の情報〉を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

必要な時に必要とする情報を得られているかについては、「充分に得られている」が5.9%で、これに「ある程度得られている」の70.2%を合わせた【得られている】は76.1%となっている。一方、「得られないことが多い」は9.3%、「まったく得られない」は1.3%で、これらを合わせた【得られない】は10.6%となっている。

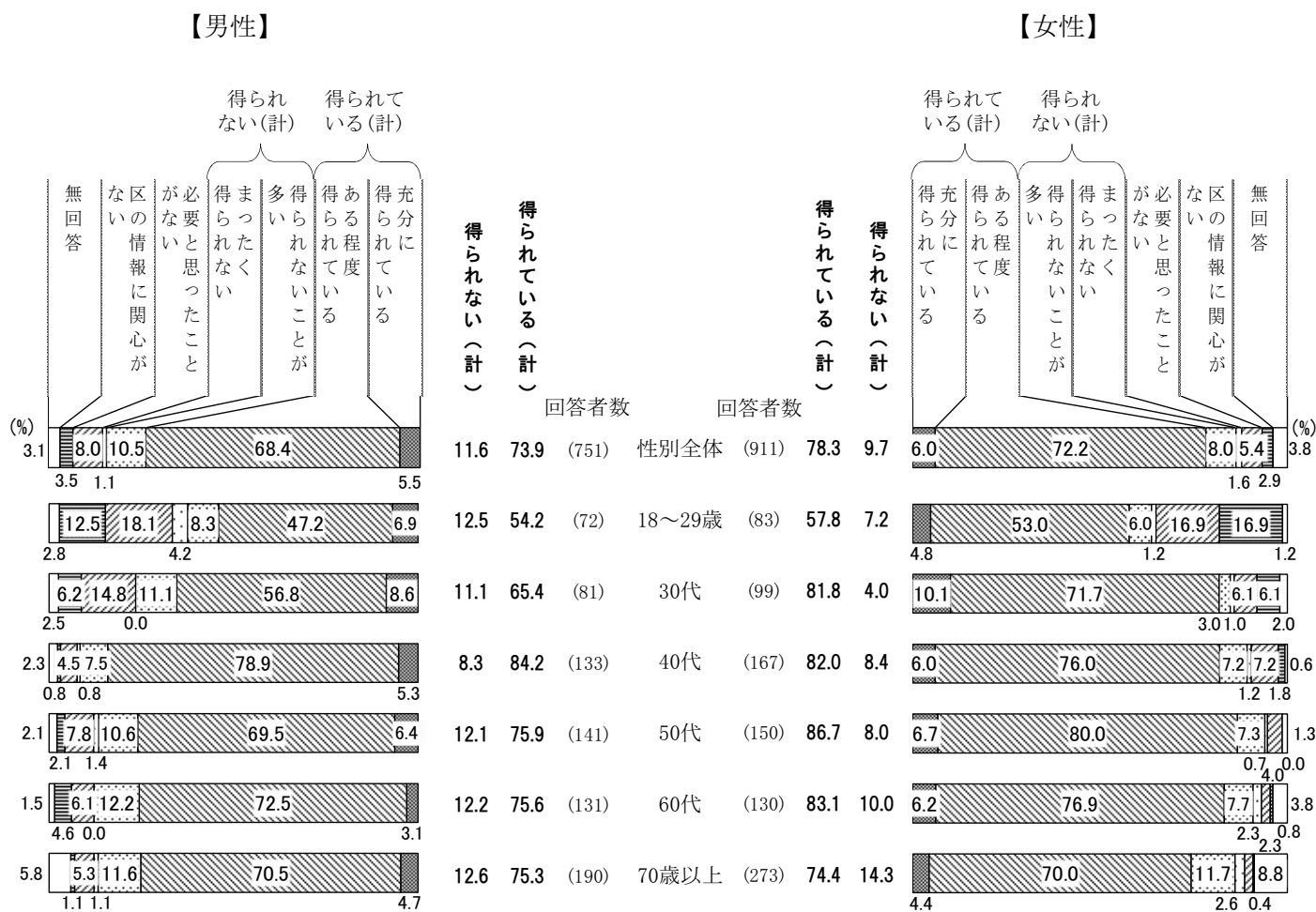
経年でみると、必要な時に必要とする情報を【得られている】という回答は、令和元年調査以降は漸増傾向を続けており、前回の令和2年調査から2.2ポイント増加して76.1%と、平成25年以降で最も高くなっている。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

性別で見ると、【得られている】は女性（78.3%）の方が男性（73.9%）より4.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、【得られている】は、女性の50代が86.7%で最も高く、次いで男性の40代（84.2%）となっている。一方、「区の情報に関心がない」は男女ともに18～29歳（男性12.5%、女性16.9%）で高くなっている。

図4-3-2 性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況

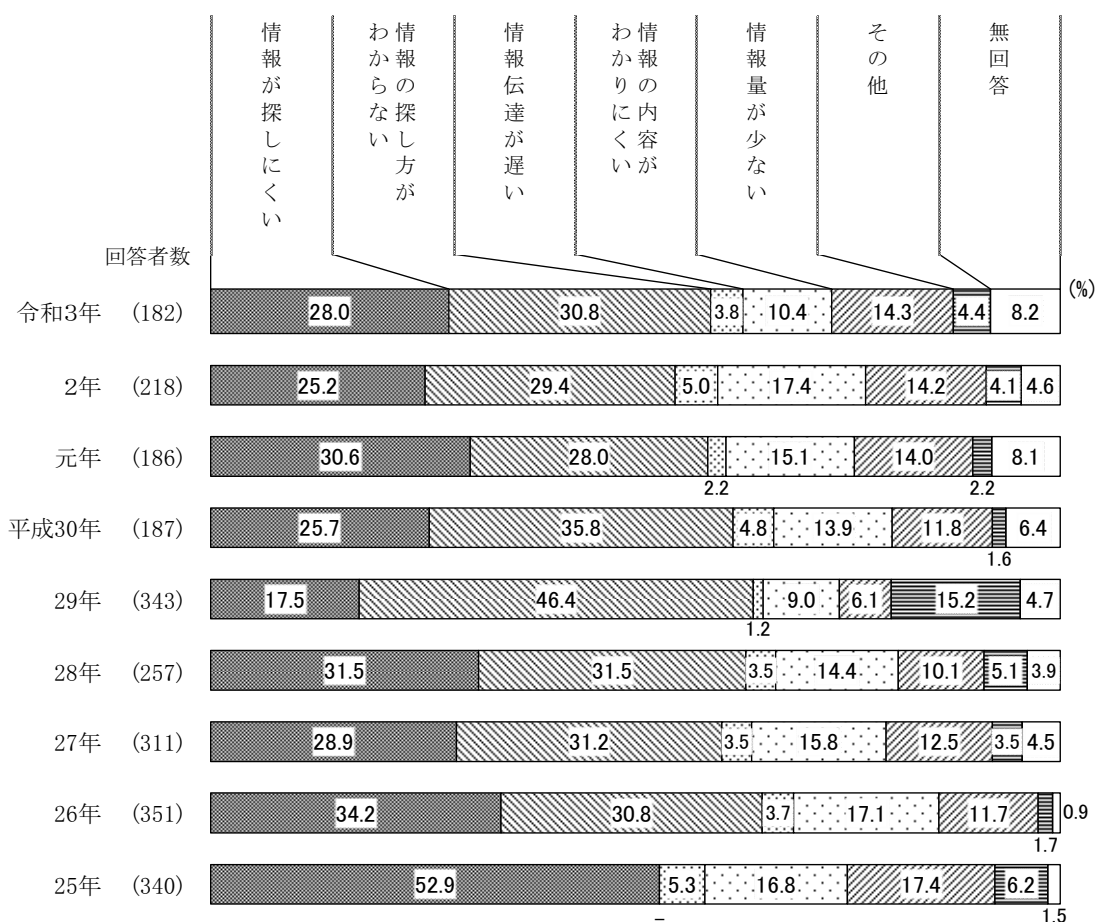


（4）区の情報得られない理由

■ “情報の探し方がわからない” が、約3割で最多に

問15で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に
問15-1 主にどのような理由からですか（○は1つだけ）。

図4-4-1 経年比較／区の情報得られない理由



※ 「情報の探し方がわからない」は、平成26年度新設。

※ 平成29年度調査では、本設問の前問である「区の情報入手手段」および「必要とする区の情報」を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

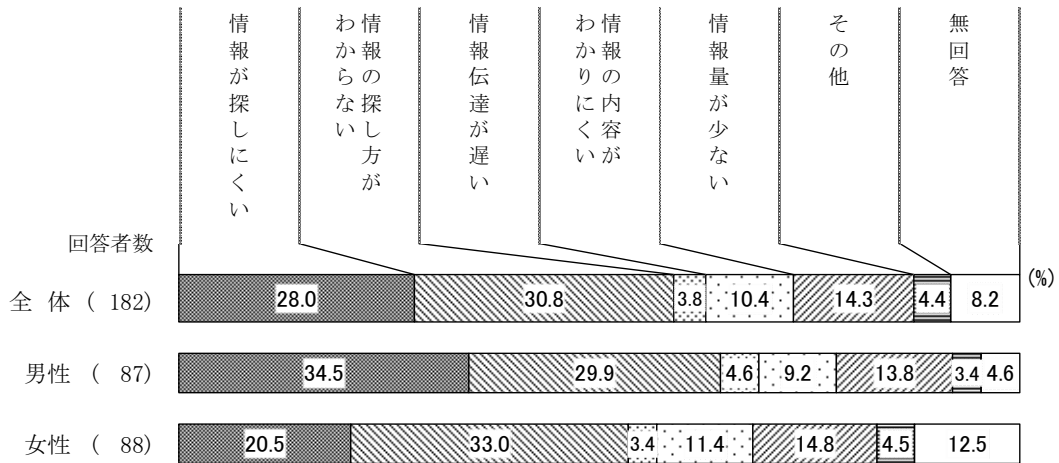
区の情報【得られない】という人に、その主な理由を単数回答で聞いたところ、「情報の探し方がわからない」が30.8%で最も高く、次いで「情報が探しにくい」(28.0%)、「情報量が少ない」(14.3%)となっている。

前回の令和2年調査との比較でみると、「情報が探しにくい」が2.8ポイント増加して、「情報の内容がわかりにくい」が7.0ポイント減少した。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

性別で見ると、「情報が探しにくい」は男性（34.5%）の方が女性（20.5%）より14.0ポイント高く、逆に「情報の探し方がわからない」は女性（33.0%）の方が男性（29.9%）より3.1ポイント高くなっている。

図4-4-2 性別／区の情報が見られない理由



(5) 区の情報得られない理由の詳細

問15で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に
問15-2 問15-1の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

区の情報得られない理由として寄せられた自由回答の内容を「あだち広報」「区のホームページ」「その他」の3項目ごとに、主な要旨とその件数をまとめた結果は以下のようになっている。

あだち広報（66名のご回答）	件数
読みづらい、わかりづらいから	20
関心がない、見る機会が少ないから	15
内容が少ない、薄いから	6
自分にとって必要ない情報が多いから	6
情報の提供が遅い・届いたときにはすでに遅いから	5
毎号同じ内容・編集内容が飽きるから	4
その他	13

区ホームページ（74名のご回答）	件数
探しにくい、わかりづらいから	35
（あまり）見ないから	15
パソコン（インターネット）を使わない・使えないから	11
情報が少ない・ほしい情報がないから	7
その他	8

その他（23名のご回答）	件数
情報をみつけられない、入手方法がわからないから	6
放送が聞こえないから	5
情報の提供量が少ないから	2
その他	10

